

## 独自の製造技術を磨き、自社ブランド化に力を入れる靴下製造業

サントユニット株式会社 奈良県広陵町

### ■OEMで技術を磨き自社ブランド化に挑戦

サントユニット株式会社（代表取締役：山本聖二氏）は、独自の製造技術を磨き、素材や機能性にこだわった靴下を提供する事業者である。

同社は、1976年に山本社長の父が個人創業。その後、山本社長が事業を承継し、2010年に法人化した際、父の名前である「山本登」を音読みしてサントユニットと命名した。

技術に裏打ちされた商品提案力を活かし、早くから百貨店の自社ブランド靴下のOEM受託製造に取り組んできた同社は、アパレル商社の新たな靴下ブランド立ち上げに全面的に協力したことも。同社はこうした経験を生かし、近年自社ブランド化に力を入れている。

### ■培った製造技術を活かした独自製品に強み

代表的な商品に、肌触りの良いシルクを内側に、保温性の高いウールを外側に使用し、1足で2枚重ね履きの効果が得られる「冷え取り5本指靴下（シルクウール）」や、つま先まで透明であるためフットネイル等の足元のおしゃれが楽しめる「オールシースルーソックス」等がある。

2017年12月には、自社ブランドサイトとして「ブルモン」を立ち上げ、天然繊維を使用しながら機能性（温かさや履きやすさ、消臭、抗菌、冷感等）、ファッション性を両立した商品群を発表している。

一般的に天然繊維100%の靴下は、ごわついて履き心地にすぐれず、強度面の問題もあり長持ちしにくい。そこで、「天然繊維の風合いや良さを損なわないよう、化繊のごく細かい伸縮糸を合わせて使用することでフィット感と強度に配慮した」（山本社長）商品づくりに力を入れている。自社ブランド育成を通じて、ゆくゆくは売上の半分程度にまで成長させたいとの考えである。

### ■経営力を強化し、さらなる発展を目指す

外部のコンサルに頼らず自社で経営計画策定や補助金獲得に取り組み、経営基盤を強化している点も同社の特徴である。奈良県からは「経営革新計画」や「チャレンジ応援資金」の認定を受けた他、これまでに国の「ものづくり補助金」に2回申請し2回とも採択されている。

山本社長は、人と人とのネットワークを重要視し、広陵町商工会主催の「靴下の市&地域特産品交流フェア」の運営等、地域活性化への貢献に力を入れている。新規の発注があった際に縫製作業の下請先が見つからず困っていたとき「町の商工会の役職を務めていたことが縁となって県内の事業所を紹介してもらえた」とのエピソードも。

「将来的に『メイド in 広陵町』靴下の認知度を高め、国内外に発信したい」と語る山本社長。夢の実現に向け、挑戦は続く。（太田宜志、吉村謙一）



冷え取り5本指靴下（シルクウール）（左上）、オールシースルーソックス（右上）、本社外観（下）



### サントユニット株式会社

〒635-0823  
奈良県北葛城郡広陵町三吉 374  
TEL: 0745-55-4460  
FAX: 0745-55-4461  
<https://blumon-nara.com/>



山本聖二 社長